

兵庫インターナショナルセンター  
20年の歩み

平成5年11月

兵庫インターナショナルセンター



## 兵庫インターナショナルセンター設立20周年にあたって



国際協力事業団

総裁 柳谷謙介

兵庫インターナショナルセンターが、昭和48年（1973年）に国際協力事業団（当時は海外技術協力事業団）と兵庫県との協力のもとに神戸市須磨区一ノ谷の鉢伏山中腹に設置され、研修員受入事業を開始して以来、早いもので20年が経過いたしました。

この間86か国にのぼる発展途上の各国から1,320名の研修員を受入れ、当センターを研修拠点として、地元兵庫に根ざした様々な技術を習得し、帰国後は自国の発展に大いに寄与しております。さらに当センターの誇る風光明媚な自然環境に育まれた良き人間関係は、これらの国々との友好関係を深めていくうえで大きな役割を果たしているものと確信しています。

当事業団が運営する国際研修センターは現在11か所を数えますが、本センターは地方公共団体との協力関係において運営されている唯一のものです。地元の国際交流促進の拠点としても大いに利用いただいていることから、本センターはまさに地方の国際化時代の要請に合致した存在といえるでしょう。

開設以来多くの方々の本センターを訪れていますが、これら来館者に対しいつも変わらぬ快適さを提供し続けることは並大抵のことではなく、本年無事20周年を迎えることができましたのも、ひとえに関係各位のご協力があったことと存じます。特に兵庫県、神戸市には設立に際しひとかたならぬご支援を賜り、また今日に至る運営、管理にあたっては兵庫県及び兵庫県国際交流協会に特段のご尽力を賜りました。この機会を借りてそのご労苦に対し改めて深く感謝申し上げる次第です。

いま我々の携わる国際協力事業は、その質と量はもとよりあらゆる点で大きな変化の時代を迎えており、ますます国民的な広がりにおいて事業の展開が求められています。近畿圏においては、平成6年に関西国際空港がオープンするとともに、当事業団大阪国際研修センターの茨木市における移転拡充工事が完成するなど、国際協力に関する動きが活発になりつつあります。このようななか、本センターがこれまで以上に地域における国際協力の拠点として一層の発展を期したいと思う次第です。

## 20周年を迎えるに当たって



兵庫県知事

貝原俊氏

美しい海と山に囲まれた風光明媚な須磨・一の谷に兵庫インターナショナルセンターが誕生して、はや20年を迎えます。

国際協力事業団の所有する全国11カ所の国際研修センターのなかでも当センターは、地方自治体である兵庫県と神戸市が開設経費を一部負担し、運営管理を兵庫県が受託している唯一のユニークな施設です。これをモデルケースに、他の地方公共団体においても、国際協力事業団と力を合わせて同種のセンターを設置運営していこうとする計画が進められるなど、地域の国際化に先駆的な役割を果たしてきたと言えるのではないのでしょうか。

設立以来、これまで開発途上国をはじめ、100カ国、延べ376,580人日の研修員を受け入れてまいりましたが、ここでの思い出を胸に、それぞれの分野で祖国発展のため大いに活躍されているとの手紙も数多く寄せられており、大変嬉しく思っています。

いま関西は、来年9月に開港するわが国初の24時間空港—関西国際空港を核に、骨格基盤となる総合交通体系の整備が着々と進むなか、大阪湾ベイエリア開発をはじめ、科学技術や情報などの基幹プロジェクト群が進展しており、アジアをはじめとする世界のゲートウェイとしての期待が一層高まってきました。

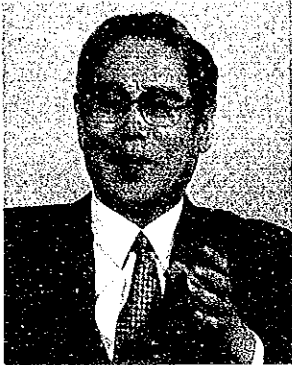
この世界都市“関西”を先導すべく、兵庫県では、来春開港の但馬空港や、新たに整備される神戸空港、播磨空港を加えて「五空港時代」を迎えようとしており、世界最長の吊り橋となる明石海峡大橋や21世紀のコミュニケーション文明のシンボルとなる日仏友好のモニュメントなどを基軸に、国の内外に開かれた基盤づくりが着々と進展しています。こうした状況のなかで、「共生志向」の県政を基調のひとつに、経済・文化・教育など各分野での国際交流を広げ、さまざまな国際問題についての理解を深めつつ、県内在住外国人施策を総合的に推進するなど、世界の人々と共に生きる国際性豊かな地域社会づくりに全力を注いでいるところです。

今後とも、兵庫インターナショナルセンターが多くの皆さんに愛され親しまれながら、国際交流の拠点としてますます充実発展するよう努めてまいりますので、地元の皆様をはじめ、関係者の方々のより一層のご支援ご協力を心からお願い申し上げます。

国際協力事業団

25419

## 祝 辞



神戸市長

釜山幸俊

このたび、兵庫インターナショナルセンター開設20周年を記念して、ひとことご挨拶申し上げますことを嬉しく思います。

兵庫インターナショナルセンターは、昭和48年8月に阪神地域における国際技術協力の拠点として設立され、これまで数多くの発展途上国からの研修員を受け入れ、多岐の分野における研修を通じて、発展途上国の人材育成にご尽力されてまいりました。これまで国際協力の先駆的役割を果たされてまいりましたことに深く敬意を表します。

神戸市におきましても、兵庫インターナショナルセンターからの委託を受け、(財)神戸国際交流協会等を通じ、貿易実践指導者コースを始め、様々な分野における研修を実施してまいりました。私どもといたしましては、このような研修を通じて研修員の方々に神戸を知っていただくことはもちろん、市民との交流を深めることにより、地域の国際化を推進する機会ができますことを非常に光栄に思います。

さて、最近の地域の国際化の進展に伴い、自治体を含む地域における国際関係も、「交流」から「協力」へと移りつつあります。こうした中で、国際協力の担い手として、地域における総合的な行政機関である地方公共団体の果たすべき役割は大きく、また市民一人一人による草の根レベルの国際協力に対し、効果的な支援を行うことがますます重要となってきております。

本市では地域における国際協力の拠点づくりとして、今年7月に「(財)神戸国際協力センター」を設立しました。今後アジアを中心とする開発途上国の諸都市から人材を受け入れるとともに、神戸市がこれまで培ってきたノウハウを各都市に提供してまいりたいと考えております。

最後になりましたが、兵庫インターナショナルセンターは開設20周年という大きな節目を迎えられたわけですが、地域における国際協力のさらなる進展のため、今後もご尽力いただきますとともに、関係者の皆様方のますますのご健勝をお祈り申し上げます。

# 目 次

兵庫インターナショナルセンター設立20周年にあたって	国際協力事業団総裁	柳谷 謙介
20周年を迎えるに当たって	兵庫県知事	貝原 俊民
祝 辞	神戸市長	笹山 幸俊

## 第1 兵庫インターナショナルセンター（HIC）の概要

1 センター設立時の状況	2
(1) 設立の経緯	
(2) センター開館式の模様	
2 センター施設等の概要	3
(1) 組織	
(2) 施設	4
(3) センター周辺地図	5

## 第2 研修員受入事業

1 国際協力事業団（JICA）研修員受入事業	8
2 兵庫インターナショナルセンター（HIC）研修員受入事業	8
(1) 沿革	
(2) 事業概要	
(3) 専門研修	9
(4) 集団研修コース及び歴代研修指導者一覧表	11
(5) 研修員受入事業にかかる諸活動	13

## 第3 資料編

歴代所長・職員・研修監理員一覧	16
年度別歴代館長・職員一覧	17
HIC20周年記念 国際協力功労者総裁表彰受賞者・団体一覧	18
HIC20周年記念 兵庫県感謝状受賞者・団体一覧	18
HIC関係表彰者実績一覧表	19
国際協力功労者総裁表彰受賞者・団体一覧	
海外技術協力功労者外務大臣表彰受賞者・団体一覧	
平成5年度兵庫インターナショナルセンター集団研修コース年間計画表	21
集団研修コース受入実績（昭和48年度～平成4年度）	23
兵庫県海外技術研修員受入実績	25
年度別兵庫インターナショナルセンター利用状況	27

# 第1 兵庫国際ナショナルセンター (H I C) の概要



昭和48年8月22日兵庫国際ナショナルセンターオープニングを祝いテープカットする  
大平正芳外務大臣と坂井時忠兵庫県知事（写真左）、中山素平海外技術協力事業団（国際  
協力事業団の前身）会長（写真右）

# 1 センター設立時の状況

## (1) 設立の経緯

昭和46年度より、新たに府県ベースによる研修生受入事業を、国が補助することとなった。

国は昭和47年度海外技術協力事業団<sup>(註)</sup>(以下事業団と言います。)に対し2億6千万円を出資、兵庫県及び神戸市が、夫々2千5百万円を負担し、計3億1千万円をもって神戸市須磨区に所在する既存の半成物件を買収改装して研修員受入れ宿泊施設を設けた。なお、これに要した土地は、兵庫県が取得のうえ提供した。

昭和48年7月15日事業団と県は、施設の運営管理を兵庫県に委託する契約書を取り交わし、同年8月22日、開所式が執り行われ、兵庫インターナショナルセンターとして正式に発足した。

(註) 海外技術協力事業団 英文名称：Overseas Technical Cooperation Agency  
英文略称：OTCA

昭和48年度のセンター設立当時において、集団研修5コース(44名)、49年度6コース(51名)を計画、実施すると共に引き続き新規コースの開拓努力を重ねる一方、施設の利用度を高める為、宿泊対象が限定される事業団運営の他センターのような直営方式を採らず、地元国際交流関係者による施設の効率的利用が見込まれ、また、かかる事業に関するノウハウの蓄積も高い県の運営に委ねる事となった。

運営委託契約による取極めにより、事業団は県がその委託業務の遂行上必要なセンターの土地・建物及びその他の付属設備並びに備品等の適宜な使用を認めている。

センターの運営経費は、県が負担し、事業団は、センターの建物等にかかる公租公課及び損害保険料、庁用備品の購入費用、建物の損傷又は汚損の修理に要する費用を負担している。

## (2) センター開館式の模様

当センターは昭和48年(1973年)神戸市須磨区に設置された。当時発展途上国から招いた研修員を対象とした集団研修コースの受入れを行っていた施設は全国でも極めて稀であり、開館式には当時の大平外相、坂井知事らも参列され祝辞を述べられた。当時の神戸新聞の記事を引用すると大平外相は祝辞の中で、「海外との対話を推進していくうえでこうした施設が国際都市神戸に誕生した意義は大きい。研修生は民族、風習も違い、むつかしい点もあるが、海を越えての人造りという立場から人間性豊かな運営を期待する。」と述べられている。

開館式の式次第は以下の通り。

日 時	昭和48年(1973年) 8月22日、11:30~12:00AM
場 所	HIC講堂

式次第	(敬称略)
司 会	永 晴夫 (兵庫県外務課長)
開 会 の 辞	御巫 清尚 (外務省経済協力局長)
あ い さ つ	大平 正芳 (外務大臣)
記 念 品 贈 呈	外務大臣より兵庫県知事へ
あ い さ つ	坂井 時忠 (兵庫県知事)
感 謝 状 贈 呈	兵庫県知事より和田 年弘氏へ (近畿工業株式会社社長)
あ い さ つ	中山 素平 (OTCA 会長)
感 謝 状 贈 呈	OTCA 会長より下記へ (株)竹中工務店 (株)創建設計社
来 賓 祝 辞	兵庫県選出国會議員団代表
祝 電 披 露	
閉 会 の 辞	田付 景一 (OTCA 理事長)
その他の出席者	兵庫県選出国會議員 兵庫県議會議員有志 外務省幹部職員 OTCA 幹部職員 兵庫県幹部職員 神戸大学教官有志

式終了後に懇親パーティー。

## 2 センター施設等の概要

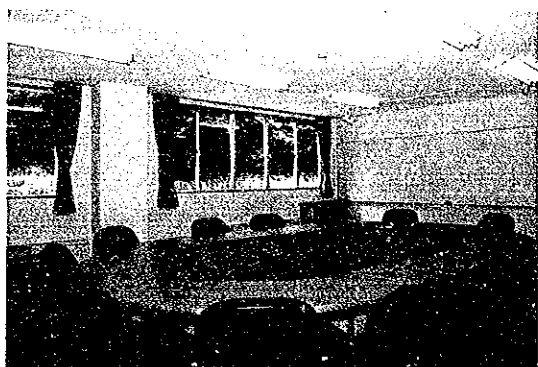
### (1) 組織

事業団は従来、所有する国内センターをいずれも直営方式で運営しており、清掃・機械保守・食堂経営等一部特殊業務を、外部専門業者に委託することはあるが、本センターのように研修業務を除いた宿泊業務等の運営管理を包括的に委託した例は初めてであった。

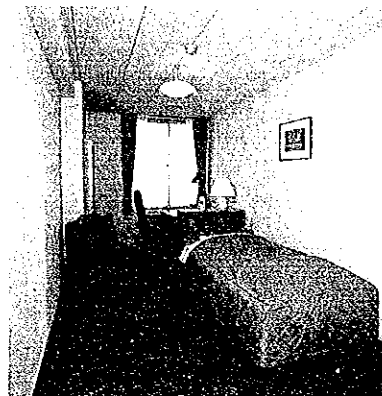
フロント業務を含む運営管理部門については、県職員及び県が再委託する(財)兵庫県国際交流協会より適宜人員が派遣されている。



(2) 施設



会議室



シングルルーム

- 1) 建物規模 鉄筋コンクリート 5階建  
敷地面積 3,729㎡  
建築面積 1,255㎡  
延床面積 4,301㎡

- 2) 宿泊可能人員 79名  
シングル (15.00㎡) 66室、ツイン (33.20㎡) 4室、特別室2室、和室1室、  
(全室バス・トイレ・TV・電話付)

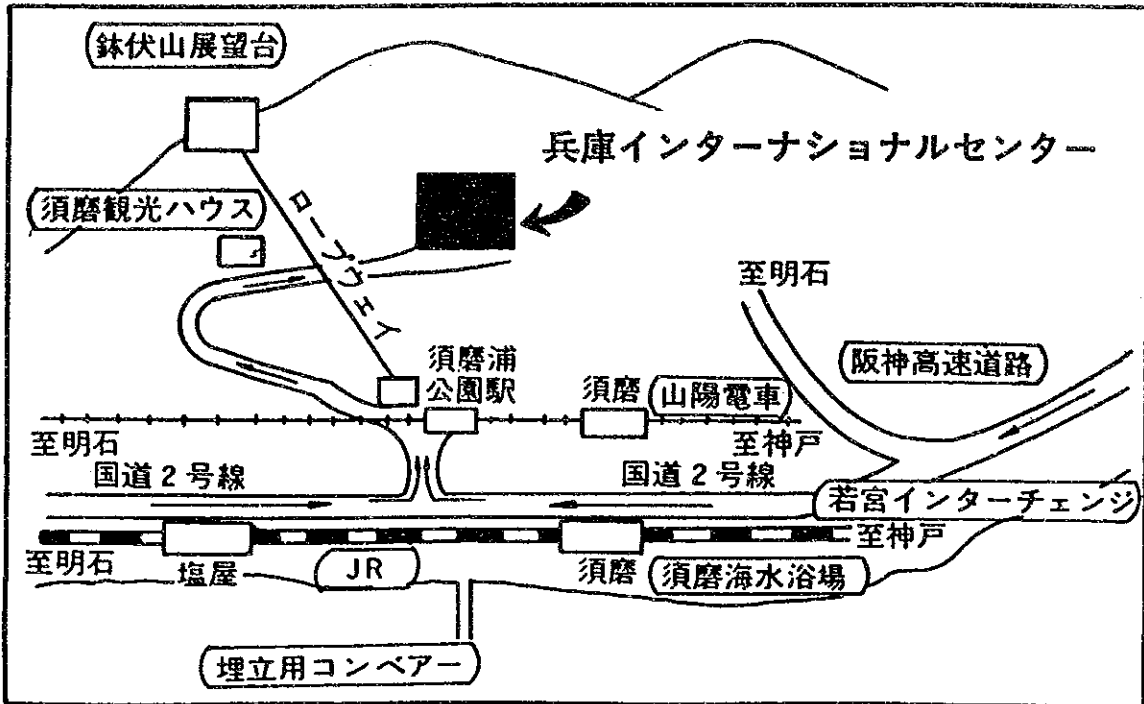
- 3) 研修施設 研修室4室、講堂、会議室1室、タイプ室

- 4) その他 フロント、ロビー、食堂、講師控室、洗濯室3室



兵庫インターナショナルセンター (HIC) 全景

(3) センター周辺地図



交通  
 JR線須磨駅より徒歩25分、  
 山陽電鉄須磨浦公園駅より徒歩7分



須磨浦ロープウェイ展望台より、兵庫インターナショナルセンター周辺、須磨海岸を望む



## 第2 研修員受入事業



稲病害虫防除集団研修コース研修風景

## 1 国際協力事業団（JICA）研修員受入事業

研修員の受入事業は、開発途上国の社会、経済的発展に必要な人材の養成、いわゆる「人造り」に協力するとともに、わが国とこれら諸国との友好親善の増進に寄与するため、主に中堅幹部として活躍している技術者、研究者、行政官等をわが国に受入れ、米作りから原子力まであらゆる分野における研修、訓練を実施している事業である。

この事業は、わが国の国際協力の主要な柱として昭和29年から実施しているもので、平成4年度には、6,864名の研修員を受入れた。

受入れ方式には、集団研修と個別研修の二つの形態がある。前者は、開発途上国に共通してニーズの高い研修内容のコースをあらかじめ設定し、集団的に研修を実施するものであり（平成4年度は317コースを実施）、後者は、個々に要請される専門分野について実施するものである。研修内容は、技術研修、技能訓練、学術研究、セミナー、視察等多岐にわたっており、国際協力事業団が、国、地方自治体、大学、民間企業等の協力を得て実施している。

## 2 兵庫インターナショナルセンター（HIC）研修員受入事業

### (1) 沿革

当センターは、阪神地域における国際協力の拠点として兵庫県及び神戸市等の支援のもとに昭和48年8月に開設された。

当センターは、発展途上国から研修員を受入れ、兵庫県及び民間の関係機関等の協力を得て研修を実施している。講義は主として当センター内で実施し、実習は受入機関の研究室や工場で行われる。

当センターの宿泊施設の運営管理は兵庫県に委託されている。

### (2) 事業概要

「海外に開かれた国際都市、神戸」という県民の意識、阪神工業地帯の産業群、世界との交易の窓口となる神戸港、検疫所、税関等、また外国領事館、外国商社の代理店、海外との学術交流や研修員・留学生受入れ等に多くの実績を持つ大学等の存在が、当センターの研修事業を支える基盤となっている。このような背景のもとに、当センターでは集団10コース及び要請に応じて特設コース、個別研修コースを実施しており、研修の企画、オリエンテーション、座学講義及び日本語研修、福利厚生、評価等を併せて実施している。また、研修の受入機関に対する英語研修なども実施している。

### (3) 専門研修

集団研修では講義、討論、実習、見学が行われる。講義は当センター教室で、実習は受入機関である大学、研究所、企業等の施設で実施し、当該分野関係研究所、試験場、企業、工場等を見学する。

研修員は主として発展途上国における研究員、行政官、検査官、普及員等幅広い分野の30～40才台の中堅技術者である。

研修は原則として英語により行われる。

当センターで実施している集団研修は以下の通り。

- 1) 貿易実践指導者コース
- 2) 輸出入食品検査技術コース
- 3) 食品微生物検査技術コース
- 4) 輸出入食品マイコトキシン検査技術コース
- 5) 植物保護のための総合防除コース
- 6) 農薬の利用と安全性コース
- 7) バイオテクノロジーコース
- 8) 閉鎖性海域の環境管理技術コース
- 9) 救難防災コース
- 10) 航海技術コース（航海士／機関士）
- 11) ペルー国別特設貿易促進コース



(4) 兵庫インターナショナルセンター 集団研修コース及び歴代研修指導者一覧表

No.	コース名	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	1	2	3	4	5	研修指導者氏名	前職・現職	指導期間	備考
1	稲病害虫防除	終了																				鈴木 直治	元 神戸大学農学部 教授	昭和48年～平成4年	昭和61年度までのコース名は病害虫防除 平成5年度より、植物保護のための総合防除 コースとして新たにスタート	
2	医化学技術																					堀田 進	元 神戸大学医学部 教授	昭和48年～昭和56年	昭和52年度までのコース名は熱帯疫学コース	
3	皮なめし技術																					近藤健次郎	元 神戸大学農学部 教授	昭和48年～昭和50年		
4	船舶技術																									
5	貿易実践指導者																					藤井 茂	神戸大学 名誉教授	昭和49年～現在		
6	水産食品加工	休																				田中 良知 元廣 輝重	元 (株)日本冷凍食品検査協会 関西総合試験研究所 所長 元 鹿児島大学大学院 教授	昭和52年～昭和58年 昭和61年～平成2年	平成3年度神奈川国際水産研修センターへ移管。 昭和51年度までのコース名は(日墨計画)食品 加工。	
7	農業利用																					鈴木 直治 松中 昭一 大川 秀郎	元 神戸大学農学部 教授 関西大学 工学部 教授 神戸大学 農学部 教授	昭和52年～昭和60年 昭和61年～平成3年 平成4年～現在	平成5年度からコース名を農業の利用と 安全性へ改称	
8	輸出入食品検査技術																					田中 良知 川崎 洋介 岡本麟太郎	元 (株)日本冷凍食品検査協会 関西総合試験研究所 所長 元 (株)極東技術研究所 主任研究員 神戸検疫所 名誉所長	昭和54年 昭和59年～平成元年 平成3年～現在		
9	食品微生物検査技術																					川崎 洋介 黒田 久寅	元 (株)極東技術研究所 主任研究員 神戸女子薬科大学 名誉教授	昭和62年 昭和63年～平成4年		
10	植物及び微生物を利用する バイオテクノロジー																					新家 龍	神戸大学 農学部 教授	平成元年～現在	平成5年度からコース名をバイオテクノ ロジーへ改称	
11	輸出入食品マイコトキシン 検査技術																					吉澤 宅實	香川大学農学部 教授	平成元年～現在		
12	閉鎖性海域の環境管理技術																					北村 弘行 合田 健	元 (株)瀬戸内海環境保全協会 調査役 摂南大学 工学部 教授	平成2年～平成4年 平成4年～現在		
13	救難防災	東京国際研修センターより移管																								
14	航海技術(航海士/機関士)	沖縄国際センターより移管																				池上 博文	元 タンザニア派遣専門家	平成4年		
15	ペルー国別特設貿易促進																					村上 敦	神戸大学 大学院国際協力研究科長 教授	平成4年～現在		





## (5) 研修員受入事業にかかる諸活動

### 日本語研修の実施

この研修は研修員の研修及び日常生活における理解を助け、これを円滑化するため全集団研修コースの研修員及び必要に応じ個別研修員に対し、専門研修に先立ち、原則として50時間程度の日本語研修を実施している。

### 福利厚生活動

研修員の日常生活をリフレッシュし、日本の社会と接して親善を深めるため、センターではスポーツ大会、親善パーティー、バスツアー、観劇などを実施している。

また、地元の国際交流団体主催による親善活動を通して日本と発展途上国との相互理解を深めている。

### 帰国研修員アフターケア

研修コースをより効率的かつ効果的に実施すると同時に途上国のニーズを把握するためフォローアップチームの派遣を実施している。

チームは帰国研修員とその所属機関を訪れ、帰国研修員が日本で習得した技術・知識がどのように活用されているかを調査するとともに最新の技術情報の提供や当該研修テーマに基づいた公開セミナーを実施する。

当センターではこれまで11回（15ヶ国）のフォローアップチームを派遣した。

### 英会話研修の実施

研修受入機関の拡充計画の一環として、当センターでは研修員の受入に携わる関係者を対象に、英語力の向上を目的とする英語研修コースを開催している。



### 第3 資料編



研修員厚生活動—日本文化紹介（着物体験教室）—

歴代所長・職員・財団派遣員・研修監理員一覽

年度	所長	研修課職員	財団派遣員**	研修監理員				
昭和48	(主任駐在員) 鶴見 栄	佐藤 忠		松井みどり 山田 保 花房 信一 秋山 孝子 平田 賢二 吹田 順一 江上満里子				
49	(研修室長) (鶴見 栄) 平林 武尚	佐藤 忠 鈴木 邦雄		山田 保 山本みどり 橋詰みのり 望月多恵子 秋山 孝子 桜井 庸子				
50	(平林 武尚) 倉林 太郎	佐藤 忠 鈴木 邦雄		山田 保 橋詰みのり 片岡 牧子 望月多恵子 桜井 庸子 藤原 紀子				
51	(所長代理) 倉林 太郎	(佐藤 忠) 鈴木 邦雄 下村 克孝 山田 保		望月多恵子 吉岡 千恵 片岡 牧子 築山由美子 佐藤千枝子				
52	倉林 太郎	下村 克孝 山田 保 (鈴木 邦雄)		望月多恵子 佐藤千枝子 築山由美子 片岡 牧子 吉岡 千恵				
53	(倉林 太郎) 吉田 春茂	(下村 克孝) 瓜生 正彦 大志万勇次 (山田 保)	西垣 公子	望月多恵子 佐藤千枝子 築山由美子 片岡 牧子 吉岡 千恵				
54	吉田 春茂	大志万勇次* 四釜 嘉穂 瓜生 正彦	西垣 公子	望月多恵子 佐藤千枝子 片岡 牧子 吉岡 千恵				
55	吉田 春茂	大志万勇次* 四釜 嘉穂 (瓜生 正彦)	西垣 公子 中尾莖蔵子	望月多恵子 八若 敏子 上坂 正子 片岡 牧子 小林 邦子				
56	吉田 春茂	大志万勇次* 北島 隆雄 (四釜 嘉穂)	西垣 公子 中尾莖蔵子	望月多恵子 吉岡 千恵 八若 敏子 片岡 牧子 小林 邦子 谷中 重紀 佐藤千枝子 上坂 正子 中井 澄江				
57	吉田 春茂	大志万勇次* 北島 隆雄 佐々野和夫	城本 瑞野 海邊美奈子	片岡 牧子 小林 邦子 吉岡千恵子 楠田 公子 谷中 重紀 山本 洋子				
58	吉田 春茂	大志万勇次* 北島 隆雄 (佐々野和夫)	城本 瑞野 海邊美奈子 松崎 康穂 水田 直子	片岡 牧子 山本 洋子 福田 靖子 吉岡 知恵 佐藤千枝子 松井 淑 谷中 重紀 道本真貴子 小林 邦子 横谷貴美絵				
59	吉田 春茂	(大志万勇次*) 菊池 賢治 (北島 隆雄)	城本 瑞野 松崎 康穂 水田 直子 田中 梢	藤原 知恵 福田 靖子 林 仁美 山本 洋子 松井 淑 横谷貴美絵 西面 文子				
60	吉田 春茂	菊池 賢治* 野福 文徳	松崎 康穂 田中 梢 熊谷美也子	藤原 知恵 西面 文子 渡辺 秀昭ベンジャミン 横谷貴美絵 林 仁美 松井 淑 河内佐栄子				
61	吉田 春茂	(菊池 賢治*) 松田 賢 (野福 文徳)	松崎 康穂 田中 梢 熊谷美也子	10月より(財)国際協力サービスセンターへ移管				
62	(吉田 春茂) 宮川 清忠	下村 克孝* 松田 賢	田中 梢 熊谷美也子	藤原 知恵 林 仁美 渡辺 秀昭ベンジャミン 横谷貴美絵 石河 祐子 松井 淑 島崎きよ子 山田エミリオ 西面 文子				
63	宮川 清忠	下村 克孝* 服部 一平 松田 賢	田中 梢 熊谷美也子	林 仁美 川端 秀子 横谷貴美絵 寺下 育子 三木 隆文 片平理恵子				
平成元年	宮川 清忠	下村 克孝* (松田 賢) 服部 一平	田中 梢 熊谷美也子	林 仁美 川端 秀子 道本真貴子 横谷貴美絵 寺下 育子 三木 隆文 井上 忠昭				
2	(所長) (宮川 清忠) 倉持 寛子	下村 克孝* 服部 一平	熊谷美也子 三脇あゆみ 徳留三千代	横谷貴美絵 寺下 育子 片平理恵子 三木 隆文 井上 忠昭 石河 祐子 川端 秀子 児島 利香				
3	(倉持 寛子) 平林 武尚	(下村 克孝*) 森下 耕自 (服部 一平)	熊谷美也子 三脇あゆみ 徳留三千代	横谷貴美絵 児島 利香 藤井 博美 川端 秀子 片平理恵子 寺下 育子 上川 敦美				
4	平林 武尚	森下 耕自* 桑原 直也	熊谷美也子 三脇あゆみ 西野公美子	横谷貴美絵 児島 利香 鶴見 和子 三木 隆文 井上 忠昭 丸田千花子 川端 秀子 迫田貴久子 上川 敦美 寺下 育子 小橋 圭一 藤井 博美				
5	(平林 武尚) 青山 豪	森下 耕自* 桑原 直也 松田 篤生	熊谷美也子 大西ゆうこ 三脇あゆみ 中山公美子	横谷貴美絵 迫田貴久子 上川 敦美 三木 隆文 小橋 圭一 藤井 博美 児島 利香 鶴見 和子 井上 忠昭 丸田千花子				

備考 \*課長代理 ( ) 当年度に異動した職員 \*\* (財)日本国際協力センター

## 年度別歴代館長・職員一覧

年度	館長	室長	職員(兵庫県から派遣)	職員
昭和48	中本 楠男	熊田太可保 (藤井 孝一)	田中 久量 辻井 史男	井上 宣子 福原 益子 森本 栄一
49	中本 楠男	藤井 孝一	田中 久量 辻井 史男 (太田 和宏)	井上 宣子 福原 益子 森本 栄一
50	中本 楠男	藤井 孝一	田中 久量 太田 和宏 (野秋 豊彦)	鳥居しおり 福田かおる 森本 栄一 原 貞行
51	中本 楠男 (中村 喬)	藤井 孝一	太田 和宏 野秋 豊彦	鳥居しおり 福田かおる 原 貞行 (荻野 一男)
52	中村 喬	高見 政明	野秋 豊彦	荻野 一男 鳥居しおり 福田かおる 原 貞行
53	中村 喬	前田 愷	野秋 豊彦	荻野 一男 鳥居しおり 佐藤 良子 三村由紀子 原 貞行 (橋本 牧子)
54	中村 喬	—	野秋 豊彦 坂上 修 (沢谷 三郎)	荻野 一男 三村由紀子 橋本 牧子
55	中村 喬	—	坂上 修	上田(旧姓三村)由紀子 橋本 牧子 (垣崎 隆)
56	中村 喬	仙崎 義明		上田(旧姓三村)由紀子 坂上(旧姓橋本)牧子 増田 一志 (小野 典子)
57	中村 喬	仙崎 義明	中村 誠司	坂上(旧姓橋本)牧子 増田 一志 小野 典子 小倉 尚子
58	滑川 良雄	大川 芳治	中村 誠司	坂上(旧姓橋本)牧子 小野 典子 小倉 尚子 吉田 宏 (長尾 真理)
59	滑川 良雄	大川 芳治	赤沼 有季	小野 典子 小倉 尚子 長尾 真理 吉田 宏
60	滑川 良雄	大川 芳治	赤沼 有季	小野 典子 小倉 尚子 長尾 真理 吉田 宏
61	滑川 良雄	田中 重海	赤沼 有季	小野 典子 長尾 真理 本田香代子 吉田 宏
62	尾崎 重雄	田中 重海	蔵野 健一	小野 典子 本田香代子 吉田 宏
63	尾崎 重雄	田中 重海	蔵野 健一	小野 典子 丸岡ゆかり (中村さわ子)
平成元年	尾崎 重雄	田中 重海	蔵野 健一	小野 典子 丸岡ゆかり 中村さわ子 森田 正数
2	尾崎 重雄 (谷本 繁雄) 館長代理 仲田 隆	牛尾 修		小野 典子 丸岡ゆかり 森田 正数
3	永田 二郎 館長代理 仲田 隆	牛尾 修		小野 典子 関(旧姓丸岡)ゆかり 森田 正数 (平安 美晴)
4	永田 二郎	牛尾 修		小野 典子 平安 美晴 森田 正数
5	岡野 和幸	大前 裕之		小野 典子 平安 美晴 城戸口周子 森田 正数

(注) 昭和48年度は8月1日、昭和49年度以降は各年4月1日現在の在職者を記入し、以降の採用者は括弧に入れた。

## HIC20周年記念 国際協力功労者表彰（総裁表彰）受賞者・団体一覧

区 分	氏名（役職名）・団体名	実 績
個 人	山本 明（兵庫県病害虫防除員）	稲病害虫防除コース、農薬利用コース農家 現場見学先（昭和48年～現在）
団 体	医療法人 野村海浜病院	集団及び個別研修員に対する深夜緊急を含む 医療サービス及び研修員福利厚生活動への協力 （昭和62年頃～現在）

## HIC20周年記念 兵庫県感謝状受賞者・団体一覧

区 分	氏 名 ・ 団 体 名	実 績
個 人	藤井繁太（神戸商工会議所参与）	選考委員会設置当初から一貫して選考委員
	土井好子（神戸市須磨区在住）	研修員との交流を7年間続けているボランティア
団 体	株式会社神戸製鋼所	研修員を15名受入（昭和50年～昭和62年）
	株式会社ノザワ	研修員を9名受入（昭和48年～平成4年）
	近畿工業株式会社	研修員を7名受入（昭和47年～昭和62年）
	川崎重工業株式会社	研修員を6名受入（昭和50年～昭和60年）
	株式会社サンテレビジョン	研修員を5名受入（昭和47年～平成2年）
	神戸大学	研修員を5名受入（昭和61年～平成4年）
	N・K自動車整備工場	研修員を4名受入（昭和56年～昭和60年）
	グローリー工業株式会社	研修員を3名受入（昭和63年～平成4年）
	株式会社竹中工務店	研修員を3名受入（昭和50年～昭和63年）
	三菱電機株式会社	研修員を3名受入（昭和53年～昭和59年）
	日本電信電話株式会社	研修員を3名受入（昭和59年～平成元年）
	菱友計算株式会社	研修員を3名受入（昭和58年～昭和60年）

## H I C 関係表彰者実績一覧表

### 国際協力功労者表彰（総裁表彰）受賞者・団体

### 海外技術協力功労者表彰（外務大臣表彰）受賞者・団体

区 分	氏名（役職名）・団体名	総裁表彰	外務大臣表彰	実 績
個人	鈴木 直治（元神戸大学農学部教授）	昭和55年度	昭和55年度	稲病虫害防除コース研修指導者 （昭和48年～平成4年）
	藤井 茂（神戸大学名誉教授）	昭和58年度	昭和60年度	貿易実践指導者コース研修指導者 （昭和49年～現在）
	松中 昭一（関西大学工学部教授 ／前神戸大学農学部教授）	昭和62年度	平成元年度	稲病虫害防除コース講師 農業利用コース研修指導者 （昭和53年～平成3年）
	山田 源次（国際商事仲裁人）	昭和63年度		貿易実践指導者コース講師 （昭和49年～平成3年）
	西村 功（神戸大学農学部教授）	平成元年度		稲病虫害防除コース講師 農業利用コース講師 （昭和48年～平成元年）
	村上 敦（神戸大学経済学部教授）	平成2年度		貿易実践指導者コース講師 （昭和49年～現在）
	元廣 輝重（鹿児島大学大学院連合 農業研究科専任教授）	平成3年度		水産食品加工コース講師、同研修指導者 （昭和56年～平成2年）
団体	神戸大学	昭和58年度	昭和60年度	医科学技術、農業利用、稲病虫害防除、 貿易実践指導者コースの主要受入れ機関 （昭和48年～現在）
	兵庫県立中央農業技術センター （旧 兵庫県農業総合センター）	昭和59年度	昭和61年度	稲病虫害防除、農業利用コース主要研修機関 （昭和48年～現在）
	農林水産省 神戸植物防疫所	昭和63年度		稲病虫害防除、農業利用コース研修機関 （昭和48年～現在）
	財団法人 神戸国際交流協会	平成3年度		貿易実践指導者コース主要研修機関 （昭和49年～現在）





平成5年度兵庫インターナショナルセンター集団研修コース年間計画表

	No.	集団研修コース名	回数(開設年度)	定員 (実数)	期間 (月)	年 度												平 成			関係省	主 要 研 修 機 関
						4年	5年	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	平 成 6年度		
継 続		食品微生物検査技術	第6回(62年)	6 (6)	5.0	1/5			5/23										JICA	兵庫インターナショナルセンター (神戸市環境保健研究所)		
		植物及び微生物を利用するバイオテクノロジー	第4回(元年)	8 (7)	5.0	1/5			5/23										文部省	神戸大学		
		農 業 利 用	第16回(52年)	6 (6)	5.5	1/7				6/18									JICA 文部省	兵庫インターナショナルセンター (神戸大学、県立中央農業技術センター)		
		輸出入食品マイコトキシン検査技術	第4回(元年)	7 (7)	4.0	2/2			5/23										JICA	兵庫インターナショナルセンター (神戸市環境保健研究所)		
新	1	植物保護のための総合防除	第1回(5年)	7 (6)	4.0				6/3			9/24							文部省	神戸大学		
	2-1	航 海 技 術 (航海士)	第12回(57年)	5 (5)	5.5				6/24				12/10						運輸省	海技大学校		
	2-2	航 海 技 術 (機関士)	第11回(58年)	5 (4)	5.5				6/24				12/10						運輸省	海技大学校		
	3	輸出入食品検査技術	第15回(54年)	6 (7)	3.5					8/17			12/3						JICA	兵庫インターナショナルセンター (神戸検疫所)		
	4	貿易実践指導者	第20回(49年)	11 (10)	3.0					8/31			12/3						JICA 通産省	(財)神戸国際交流協会		
	5	救 難 防 災	第11回(57年)	7 (7)	3.5					9/2			12/10						運輸省	(財)海上保安協会(海上保安庁)		
	6	閉鎖性海域の環境管理技術	第4回(2年)	8 (5)	2.5					9/16			12/3						JICA	(社)瀬戸内海環境保全協会		
	規	7	食品微生物検査技術	第7回(62年)	6	4.5									1/6			5/22	JICA	兵庫インターナショナルセンター (神戸市環境保健研究所)		
		8	輸出入食品マイコトキシン検査技術	第5回(元年)	7	3.5									2/3			5/22	JICA	兵庫インターナショナルセンター (神戸市環境保健研究所)		
		9	バイオテクノロジー	第5回(元年)	8	4.5										3/22		8/7	文部省	神戸大学		
10		農薬の利用と安全性	第17回(52年)	6	5.5										3/22		8/31	JICA 文部省	兵庫インターナショナルセンター (神戸大学、県立中央農業技術センター)			
特設		ペルー国別特設貿易促進	第2回(4年)	11	2.5									1/6			3/20	JICA 通産省	(財)神戸国際交流協会			







# 兵庫県海外技術研修員受入実績

## 1. 国別受入実績

H. 5. 7. 31 現在

	国名	年度													元	2	3	4	5	合計						
		46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58							59	60	61	62	63	
ア	中華人民共和国											2	(2)4	(3)5	(2)5	(2)6	(2)6	(2)5	6	6	6	6	6	(13) 62		
	台湾	2	1	1																				4		
	大韓民国	1	1	1	2	1	1	2	2	2	1	1	2	1	1	1	1	1						22		
	フィリピン共和国			1		1	2		1	1	2	1	1		1	1	1	1	1	2	1	2	1	2	23	
	インドネシア共和国				2	1					1		1		1			1		1	1		1	1	11	
	ラオス人民民主共和国				1																				1	
	マレーシア		1	1	1		1		1	1		1		1	1								1	1	11	
	シンガポール共和国		1	1			1	1		2	2					1			1						10	
	タイ王国					1	1	1															1		4	
	ジ	インド共和国																	1		1	1	1		4	
パキスタン・イスラム共和国																		1						1		
バングラデシュ人民共和国											1													1		
アフガニスタン共和国						1																		1		
ア		ネパール王国																		1	1	1	1	1	5	
		スリランカ民主社会主義共和国																				1			1	
		香港			1																				1	
		ベトナム社会主義共和国																						1	2	3
		地域小計	3	4	6	6	5	6	4	4	6	6	4	5	(2)7	(3)8	(2)9	(2)9	(2)9	(2)7	11	10	11	12	13	(13) 165
中東		トルコ共和国																					1		1	
	地域小計																						1		1	
オセアニア	西サモア			1																				1		
	パラオ共和国											1	(1)2	1				1		1				(1) 6		
	地域小計			1								1	(1)2	1				1		1				(1) 7		
アフリカ	エチオピア人民民主共和国																1							1		
	ケニア共和国																	1						1		
	タンザニア連合共和国																		1					1		
	ザンビア共和国														1				1					2		
	マラウイ共和国																					1		1		
	地域小計														1	1	1	1	1			1		6		
中南米	メキシコ合衆国										1													1		
	アルゼンチン共和国		1			1		1				1	1	1	1	1	1							9		
	ブラジル連邦共和国	3	2	1	2	2	1	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	5	5	3	3	3	56	
	ウルグアイ東方共和国	1																	1						2	
	ボリビア共和国																						1		1	
	地域小計	4	3	1	2	3	1	3	3	2	2	3	3	3	3	3	3	3	4	5	5	3	4	3	69	
欧州	スペイン王国								1		1	1	1											4		
	地域小計								1		1	1	1											4		
	合計	7	7	8	8	8	7	7	8	8	8	8	10	(3) 13	(3) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 13	16	16	16	16	16	(11) 252	

## 2. 部門別受入実績

部門	年度																	元	2	3	4	5	合計	
	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63						
農 林 水 産	1			1	2		1	2		1	1	4	4	5	2	(1)3	(1)2	3	4	1	4		3	(2) 44
土 木 建 築				2	1		2	1		1				1	1	1	2	1	1	3		2	1	20
保 守 操 作	1	1	3	1		1		1		1	3		(1)4	(1)2	4	1	2	(2)6	2	2			3	(4) 38
製 造 加 工	3	4	3	3	5	4	2	3	6	4	4	4	(2)5	(1)4	(2)3	2	(1)2	1	2	1	2	5		(6) 72
保 健 衛 生	2	1	1	1		1	1	1	1	1		2			2	(1)5	5	2	6	8	9	7	6	(1) 62
教 育 文 化		1	1			1	1		1					(1)1	1	1			1	1		2	3	(1) 15
金 融																					1			1
合 計	7	7	8	8	8	7	7	8	8	8	8	10	(3) 13	(3) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 13	16	16	16	16	16	(10) 252

## 3. 研修機関別受入実績

部門	年度																	元	2	3	4	5	合計	
	46	47	48	49	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63						
県 立 機 関	2	2	2	2	3	2	1	3		2	1	5	(2)6	6	6	(1)5	(2)8	5	11	10	12	7	14	(5) 115
公 的 団 体		1		1										1			1		1			1		6
学 校	2		1				2		2							(1)4		1	1	2	1	2	1	(1) 19
民 間 団 体	3	4	5	5	5	5	4	5	6	6	7	4	(1)7	(3)6	(2)7	4	4	(2)7	3	4	3	6	1	(8) 111
そ の 他												1												1
合 計	7	7	8	8	8	7	7	8	8	8	8	10	(3) 13	(3) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 13	(2) 13	16	16	16	16	16	(10) 252

※3ヶ月コースは( )内書き

※51名が女性研修員

※平成5年度までの受入団数 29カ国、2地域

年度別兵庫インターナショナルセンター利用状況

宿泊施設

(単位：人)

区 分	48年度	49年度	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	合 計
JICA技術研修員	5,663	8,472	7,152	6,904	6,673	8,776	8,693	8,727	9,582	9,877	8,390	8,587	6,681	7,586	7,648	9,150	9,730	11,734	9,219	9,792	169,036
県技術研修員	1,521	1,726	2,108	2,275	2,354	2,530	2,614	2,778	2,642	3,378	4,369	4,069	3,876	4,038	3,933	3,838	5,595	4,945	6,074	5,450	70,113
企業等技術研修員	162	365	266	242	213	250	259	2,676	1,375	619	480	1,141	2,144	892	1,390	391	865	926	809	881	16,346
国際交流等関係者	2,225	7,188	7,559	7,841	10,038	10,347	8,724	6,607	5,834	4,950	4,850	5,585	6,102	5,452	4,930	6,146	4,503	4,163	4,450	3,591	121,085
合 計	9,571	17,751	17,085	17,262	19,278	21,903	20,290	20,788	19,433	18,824	18,089	19,382	18,803	17,968	17,901	19,525	20,693	21,768	20,552	19,714	376,580
定員に対する利用率	49.9	61.6	59.1	59.9	66.9	76.0	70.2	72.1	67.4	65.3	62.6	67.2	65.2	62.3	61.9	67.7	71.8	75.5	71.1	68.4	-
対 前 年 比	-	-	96.2	101.0	111.7	113.6	92.6	102.5	93.5	96.9	96.1	107.1	97.0	95.6	99.6	109.1	106.0	105.2	94.4	95.9	-

研修施設

(単位：件)

区 分	48年度	49年度	50年度	51年度	52年度	53年度	54年度	55年度	56年度	57年度	58年度	59年度	60年度	61年度	62年度	63年度	元年度	2年度	3年度	4年度	合 計	
研 修 室 No. 1	JICA	109	190	114	119	21	188	68	65	154	160	148	244	267	261	260	260	289	254	243	249	3,663
	その他	17	81	100	206	377	235	394	328	183	198	199	146	162	147	151	153	116	133	165	92	3,583
	計	126	271	214	325	398	423	462	393	337	358	347	390	429	408	411	413	405	387	408	341	7,246
研 修 室 No. 2	JICA	159	175	144	210	205	232	262	205	193	142	94	131	121	26	115	108	114	96	63	113	2,905
	その他	13	64	134	97	176	103	165	220	155	206	210	270	207	308	231	236	226	190	279	178	3,668
	計	172	239	278	307	381	335	427	422	348	348	304	401	328	334	346	344	340	286	342	291	6,573
研 修 室 No. 3	JICA	3	44	119	38	104	203	281	279	170	186	122	58	23	133	75	171	170	152	214	190	2,735
	その他	49	122	189	183	259	84	138	174	236	218	261	314	376	336	375	290	245	270	196	170	4,485
	計	52	166	308	221	363	287	419	453	406	404	383	372	399	469	450	461	415	422	410	360	7,220
研 修 室 No. 4	JICA	31	183	150	142	110	2	8	14	10	26	36	4	5	11	21	13	15	63	79	110	1,033
	その他	39	165	179	237	441	471	441	428	285	344	308	427	378	312	306	328	239	198	237	172	5,935
	計	70	348	329	379	551	473	449	442	295	370	344	431	383	323	327	341	254	261	316	282	6,968
会 議 室	JICA	9	20	20	33	22	14	20	10	39	51	6	2	2	2	37	18	95	217	127	88	832
	その他	26	48	158	96	163	161	127	201	101	174	183	240	297	255	226	268	206	103	118	102	3,253
	計	35	68	178	129	185	175	147	211	140	225	189	242	299	257	263	286	301	320	245	190	4,085
講 堂	JICA	10	11	8	10	12	11	10	8	12	10	7	7	9	12	8	8	5	8	28	24	218
	その他	86	121	250	210	397	227	372	366	236	325	262	274	327	281	214	368	279	241	226	233	5,295
	計	96	132	258	220	409	238	382	374	248	335	269	281	336	293	222	376	284	249	254	257	5,513
合 計	JICA	321	623	555	552	474	650	649	578	578	575	413	446	427	445	516	578	688	790	754	774	11,386
	その他	230	601	1,010	1,029	1,813	1,281	1,637	1,717	1,196	1,465	1,423	1,671	1,747	1,639	1,503	1,643	1,311	1,135	1,221	947	26,219
	計	551	1,224	1,565	1,581	2,287	1,931	2,286	2,295	1,774	2,040	1,836	2,117	2,174	2,084	2,019	2,221	1,999	1,925	1,975	1,721	37,605



